

# 「第1回都市対抗世界子ども将棋団体戦」実施要項

2023年8月

## 1. 主催等

主催：NPO法人「将棋を世界に広める会」（ISPS）

後援：公益社団法人日本将棋連盟、日本国外務省

協力 東京都将棋支部連合会、将棋連盟海外支部

## 2. 開催日程（予定）

参加チーム募集期間 2023年8月11日から8月31日まで

地区予選 2023年9月1日から2023年10月31日

本大会 2023年11月1日から2023年12月31日

詳細日程は今後各都市運営協力者と協議して、主催者が決定する。

地区予選については、基本的に各都市の運営協力者に実施を委任するが、各都市間で地区大会実施に際し調整必要な事項が生じる場合は、主催者が、各都市の運営協力者と協力し解決にあたるものとする。

調整困難な事項が生じた場合は、最終的な判断は、主催者が下すものとする。

各都市間の時差も考慮し試合日程については柔軟に対応する。

## 3. 参加資格

日本国外に在住の子供であること。参加者の年齢は12歳以下（1名は15歳以下も可）とする。尚、年齢は、2023年9月1日時点を基準とする。

海外の各都市、または、地域毎に1チーム3名による団体戦を行い各都市の代表チームを決定する。（都市、または、地域については、幅広く参加者が募集できるように検討する。）

各チームには、英語か日本語が会話可能な監督専任者1名を備えることを原則とする。

## 4. 参加都市

第一回大会については、北東アジア・東南アジア・オセアニア地区にて実施する。

「北東アジア地区」は中国・香港・台湾・韓国・モンゴルとし、

「東南アジア地区」は、ベトナム・フィリピン・マレーシア・シンガポール・タイ・カンボジア・ラオス・ミャンマー・インドネシア・東ティモール・ブルネイとする。

「オセアニア地区」はオーストラリア・クック・フィジー・キリバツ・マーシャル・ミクロネシア・ナウル・ニュージーランド・ニウエ・パラオ・パプアニューギニア・サモア・ソロモン・トンガ・ツバル・バヌアツの国々とする。

## 5. 本大会参加チーム

本大会は、各地区予選を勝ち抜いた 8 チームにてトーナメント方式で実施する。

8 チームの選出方法については、応募チーム数が確定した時点で、各地区の応募者数を考慮し、主催者にて決定する。

決勝大会はトーナメントにより優勝・準優勝・3 位を決め、表彰状（各 1）、賞品（各 3）の授与を行う。

地区代表チームは、地区の協力者と相談のもと主催者が決定する。

対局に必要なオンライン、Zoom 環境は、参加者が準備する。

決勝大会の運営は、地区の運営協力者と相談の下、主催者主体で行う。

参加費は、無料とする。幅広くチーム数を集めるため、チーム編成については、柔軟に対応する。（例：シドニー・メルボルン・パースの各都市の連合チームも認めるものとするなど。）

## 6. 競技方法

大会協議の基本形式は下記のとおり。

3 名の団体戦とする。大将、次将、三将の席順は、固定ではなく、毎回、人員、席順の入れ替えは可能とする。

対局開始は、三局同時に行うものとする。

各チームの先手、後手については、主催者が、オンライン上で各チームの責任者に通知し、各チームは、主催者の通知に従って、対戦待ちの設定を行う。

決勝大会のチームメンバーは、地区予選のメンバーと同一とする。（注）補欠選手については、原則として登録を認めない。

対局は総平手戦とする。先手・後手の決定は、主催者の指示に従う。

持ち時間は、各自 20 分。これが切れたら 1 手 30 秒の秒読みとする。

大会は、81 道場のプラットフォームと Zoom を併用しオンラインで行う。

Zoomの適用が難しい場合は、各都市の協力者と協議し適正な交信システムを採用するものとする。

対局規定については、原則として日本将棋連盟の対局規定に従う。詳細の対局規定については、別途公表する。

ソフト等を使用した不正対局が行われないよう、主催者がモニターリングできる方式とする。対戦時には、ISPS 理事（複数名）が原則として立ち会う。

主催者が認めた場合は、地区大会については、各地区の実情に即して、適した競技方法を採用することを可能とする。

例として、地区大会は、各地域都市の参加チームによる総当たりのリーグ戦（スイス式）とすることも可能とする。場合によっては、トーナメント戦を選択することも可能とする。

## 7. 表彰

本大会の優勝、準優勝、3位のチームには、賞状（各1）、記念品（各3）、を贈呈する。賞品の詳細は、別途発表する。

## 8. 大会役員等

大会役員、各都市運営責任者は、別途定めるものとする。